

キューバ医療情報 5月

5月13日

キューバでは原因不明の急性肝炎の症例はない

Cubadebate

保健省の報告によると、原因不明の急性肝炎の症例は検出されていない。ペドロコウリ熱帯医学研究所 (IPK) で常に調査されており、疑い例はあるがこれまでのところキューバで診断された症例はない。

WHOによると、今週の金曜日までに、世界で報告された原因不明の急性肝炎の症例数は、27カ国で450例（ヨーロッパ大陸106例、英国163例、他の地域181例）であり、11例が死亡した。

5月15日

イランは COVID-19 に対するキューバのワクチンを生産する最初の国に

Granma

フィンレイ・ワクチン研究所 (IFV) は、イランのパスツール研究所にソベラナ 02 の技術移転を行い、PastoCorona と呼ばれる COVID-19 ワクチン製造工場が発足し、イランはキューバ製ワクチンを生産する最初の国になった。世界で最初に COVID-19 に対する結合型ワクチンであるソベラナ 02 はイラン国内では PastuCovac という商品名で流通される。

5月17日

全国ポリオワクチン接種キャンペーンの第2段階が進行中

Granma

キューバは、1962年以来、南北アメリカでこの病気を撲滅した最初の国である。月曜日に始まった第61回全国2価経口ポリオワクチン接種キャンペーンの第2段階は全国で21日まで実施される。

ポリオは中枢神経系に影響を与える感染症であり、脳と脊髄の運動ニューロンの炎症を引き起こし、筋萎縮、麻痺、奇形さらには死を引き起こす可能性がある。

キューバでは1932年から1962年にかけて413,000人が感染し、430人が死亡した。